

～須高ケーブルテレビと日本ケーブルラボが共同～
地域の映像を VR (Virtual Reality) で撮影

須高ケーブルテレビ株式会社(長野県須坂市:代表取締役社長 丸山康熙)と、一般社団法人日本ケーブルラボ(東京都中央区:理事長 藤本勇治)は、2016 年から急速に普及しつつある VR(仮想技術:バーチャルリアリティ)の共同研究に着手し、長野県の北信濃を中心に VR の特徴を活かした映像シーンの撮影を始めました。

動きが少ない風景や、動きの多いスポーツなど様々な映像シーンを 360 度カメラで撮影した素材映像を一つの大きな映像に展開するスティッチング編集のテクニックや、できあがった映像をケーブルテレビの伝送路における伝送レートを想定し、符号化方法(圧縮技術)を最適化する研究を進めています。



カメラ(ノキア製 世界初のプロ向け 360 度 VR カメラ「OZO」)

須高ケーブルテレビでは、4K や VR に対応したデジタル機器の普及と放送サービスの高度化が進む中、地域の人々の暮らしや風景、伝統芸能や産業などを映像として後世に残す「地域映像アーカイブ」の担い手として、最新の映像技術を活用した積極的な地域コンテンツづくりに取り組んでまいります。

日本ケーブルラボでは、4K や HDR(High Dynamic Range)といった高画質化技術における画質評価等を進めるとともに、昨年度より VR に関する取り組みを開始しました。4K や 8K といった高精細な VR 映像は、高い伝送レートが必要とされるため、データ量の削減を目指し、外部研究機関とも連携して研究を進めていきます。

【撮影風景】



【撮影シーンのサムネイル】



①ペンギン（須坂市動物園）



②フラミンゴ（須坂市動物園）



③さくらまつり（臥竜公園）



④滝（臥竜公園）



⑤スラックライン-1（浄光寺スラックラインパーク）※



⑥スラックライン-2（浄光寺スラックラインパーク）※



⑦味噌蔵-中庭（塩屋醸造）



⑧味噌蔵（塩屋醸造）

※長野県小布施町において2017年9月17日・18日「2017 スラックラインワールドカップジャパン」が開催されます。

◆須高ケーブルテレビ株式会社 <http://www.stvnet.co.jp>

平成元年開局。長野県須坂市・小布施町・高山村をエリアとするケーブルテレビ局。「顧客感動度ナンバーワン宣言」のもと、テレビ、インターネット、IP 電話、光コラボ「ながの光」サービスを展開。これまでに日本ケーブルテレビ連盟主催のベストプラクティス大賞をはじめ、番組アワード、地方の時代映像祭、4K 徳島映画祭など各賞を受賞。2006 年から開始した女子美術大学、高山村との産学官連携事業や須坂市から委託された「シティセールスプロモーション」、地域コンテンツの海外展開など地方創生事業を幅広く展開している。

◆一般社団法人日本ケーブルラボ <http://www.jlabs.or.jp>

ケーブルテレビ技術基盤の整備とケーブルテレビ利用者へのサービス向上のために設立された団体。ケーブル事業者、関連ベンダー、ケーブル関係団体からなる会員により構成。現在は、4K 映像サービスに関わる規格の標準化や最新技術動向調査分析などに取り組み等に取り組み、ケーブルテレビ業界のシンクタンクとして注目されている。また、ケーブルサービスに使用される機器のメーカー間相互接続性を確保するための機器認定審査を実施し、その信頼性は高い評価を受けている。